

ユリ

ユリはユリ科ユリ属の植物で、北半球の亜熱帯から亜寒帯に広く分布しています。野生種は北アメリカに約25種、ヨーロッパに約12種、アジアに約59種あるとされています。日本には野生種が約15種あり、その半数は日本固有種です。

日本から来たユリが育種を後押し

ヨーロッパでは、古くから主にマドンナリリー (*Lilium candidum*) が栽培されてきました。その球根は薬用とされ、ローマ帝国の領土であった地域に広く分布しているのは、ローマの軍隊がユリ根を携帯し、遠征先に植栽していたためといわれています。また、キリスト教ではその白い清楚な花を聖母マリアの象徴として特別視してきました。

栽培の歴史の古さに比べて品種改良の歴史は浅く、1830年代からシーボルト (1796-1866) らによって日本の野生ユリが次々とヨーロッパに持ち込まれてその観賞価値の高さに注目が集まり、1880年代には日本からユリ根が大量に輸出されるようになって普及が進み、次第に園芸品種の育成も進められるようになっていきました。

ユリの園芸品種の発展

異なる野生種間で人口交配を行い、新しい園芸品種を得る試みがくり返されてきた結果、交配しても種子がでにくい組み合わせがあることがわかりました。1964年には、イギリスの王立園芸協会によって、雑種のできやすさをもとにした以下のような分類がなされました。

オリエンタル・ハイブリッド

日本に自生するヤマユリ、カノコユリ、タモトユリ、ウケユリ、ササユリ、オトメユリなどの交配によって生じた雑種群。'カサブランカ'、'スターゲイザー' などの品種があります。

アジアティック・ハイブリッド

オニユリ、コオニユリなどのアジアに自生するユリどうしの交配によって生じた雑種群。'エンチャントメント'、'コネチカットキング' などの品種があります。

ロンギフローラム・ハイブリッド

台湾に自生するタカサゴユリや日本に自生するテッポウユリなどの交配によって生じた雑種群。この2種の交雑によって実生1年で開花する'シンテッポウユリ' がつくりられ、切り花に利用されています。

トランペット・オーレリアン・ハイブリッド

中国に自生するキカノコユリ、リーガルリリーなどの交配によって生じた雑種群。

マルタゴン・ハイブリッド

タケシマユリ、マルタゴンリリー、クルマユリなどの交配によって生じた雑種群。

右写真：ユリの園芸品種 'スターゲイザー'

オリエンタル・ハイブリッドグループの園芸品種です。アメリカで1974年に作出されました。



上図：マドンナリリーが描かれたルネサンス期の宗教画 (Lorenzo Lotto: Virgin and Child with Saints Jerome and Nicholas of Tolentino, 1521年) (Wikimedia Public domain)



日本の野生ユリが欧米に与えた衝撃

テッポウユリ (*Lilium longiflorum*) は1829年にシーボルトがオランダ・ライデンの植物園に送りました。マドンナリリーに似た清楚な美しさを持ち、早咲きで春の復活祭の頃に咲くため、イースターリリーと呼ばれ、マドンナリリーにかわってキリスト教の祭事に欠かせない花となりました。

ササユリ (*Lilium japonicum*) は、1804年に中国に派遣されたカー (?-1814) によってイギリスに送られました。ササユリは日本固有種のため、その当時すでに日本から中国に渡っていたと考えられています。

ヤマユリ (*Lilium auratum*) が1862年にイギリスにもたらされると、「驚嘆すべき美しさ」と大評判になりました。英語名で「金色の筋が入ったユリ (the goldband lily)」と呼ばれ、種小名の *auratum* には「金色の」の意味があります。

カノコユリ (*Lilium speciosum*) は、シーボルトによって1830年にベルギー・ヘントの植物園にもたらされました。ベルギー独立戦争のさなか、ヘントのカノコユリは1832年に開花し、現地の人々はその美しさに驚嘆したといえます。



上図：テッポウユリ「ヨーロッパの温室と庭園の植物」より (Flore des Serres et des Jardins de l'Europe. v.3, 1847年) (Biodiversity Heritage Library)



上図：ササユリ「ヨーロッパの温室と庭園の植物」より (Flore des Serres et des Jardins de l'Europe. v.20, 1874年) (Biodiversity Heritage Library)



上図：ヤマユリ「ヨーロッパの温室と庭園の植物」より (Flore des Serres et des Jardins de l'Europe. v.15, 1862-65年) (Biodiversity Heritage Library)



上図：カノコユリ「ヨーロッパの温室と庭園の植物」より (Flore des Serres et des Jardins de l'Europe. v.3, 1847年) (Biodiversity Heritage Library)